

伊敷地域での

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

(開催概要)

日時：平成18年2月9日(木) 19:00~20:00

場所：伊敷公民館

平成18年5月

鹿児島市 市民参画推進課

伊敷地域での「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成18年2月9日（木）19：00～20：00
場所：伊敷公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
1	皆与志町 男性	旧5町の振興と言っており、近くの郡山や吉田は、非常に沸き立っているが、私のところは非常に静かだ。 ぜひ、市長は、皆与志を見にきてほしい。	1市5町の速やかな一体化ということで地域の矛盾を解消するために、都市計画の見直しを検討しているところであり、また、都市マスタープランの見直し、線引きの見直しを含め全体的な市のあり方について検討しているところである。 言われたことが、今からの都市計画の重要なポイントだと思っているので、十分意を用いて検討し、県に申請したいと思っている。	建設局	鹿児島市は平成16年11月の合併に伴い、1つの線引き都市計画区域と4つの非線引き都市計画区域、都市計画区域外が併存していることから、現在、都市計画の見直しや、かごしま都市マスタープランの見直しについて検討を行っております。 一方、都市計画区域を市街化区域と市街化調整区域とに区分する区域区分いわゆる線引きは、都市計画区域を定めた県が、地域の実情を踏まえて、都市計画区域マスタープランの中で判断することとなっております。 このことから、県においては、市町村合併の進展に伴う都市計画区域の再編や区域区分など、今後の県下の都市計画のあり方について意見を聞くため、「かごしまの都市計画あり方検討委員会」を設置し、検討されているところです。 鹿児島市としても今後、県と協議調整を行いながら、都市計画の見直しを行うこととなりますが、見直しにあたっては、説明会を開催するなど市民の意見を広く伺いながら取り組んでまいりたいと考えています。
2	伊敷六丁目 男性	① 新村町内会の名突地区に市道新村線が走っているが、非常に道路幅が狭くて車が入らない。 救急車を呼んでも道路が狭いから断られるという事態も起こっているのので、小型の救急車を配備していただきたい。 また、年寄りの方が、ごみを一輪車に乗せて、200m位道路まで持ち出しているという状況である。	救急車には、待機職員等を含め必要な人員が乗らないといけない。それらを含め、対応ができるか消防局に検討させる。 道路狭隘地域でのごみの収集については、多くの方々からご要望がきている。今のごみの収集体制についても各面から検討していかなくてはならないが、十分その意を踏まえて、各都市の対策を調査しながら、地域全般の体制として検討している状況である。	環境局 建設局 消防局	救急車を要請された場合、道路が狭いということでお断りすることはありません。 救急の要請場所の道路が狭く、救急車が入れない場合には、ストレッチャーや担架で搬送し、救急車に収容するなど対処しており、今後も同様に対処してまいります。 また、救急車は、ベッドや担架を収納し、隊員が車内で救急処置を行う容積が必要なことや、業務を行う際、必要な構造や設備を有することから、車の大きさも限定されていますので、ご理解いただきたい。 道路狭隘地域でのごみの収集については、現在、他都市の実施状況を調査しながら、地域全般の問題として研究しております。 市道新村本線の整備について、沿線の土地利用状況や地形等を勘案しますと、用地確保等、非常に厳しい面もあり困難ではないかと考えておりますが、当該道路は狭隘で見通しの悪い箇所等もあることから、局部改良も含め今後どのような方策があるか研究してまいりたい。

伊敷地域での「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成18年2月9日（木）19：00～20：00
場所：伊敷公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
2		<p>② 高齢者が増え、グランドゴルフ、ゲートボール等の場がなかなかとれない。</p> <p>伊敷地域の田を提供するので公園をつくってほしいと、昨年8月に公園緑化課にお願いしているので、ぜひ整備をしていただきたい。</p>	<p>市としても、土地を無償で提供していただき、地域で整備してほしいという要望があれば、年次的に実施している。</p> <p>要望のあった公園が、18年度予算に計上できるかというのはまだ決定していないが、中身を検討しながら年次的に整備をしていきたいと考えている。</p>	建設局	<p>要望のあった公園については、平成18年度の予算に計上し、民有地を無償で借上げ、年度内に整備を行う予定です。（飯山公園(仮称)）</p>
3	西伊敷二丁目 男性	<p>現在、伊敷団地東側山地に宅地造成計画が進んでいるようだがご存知か。自宅が、この計画の東側と北側が隣接し、急な崖になっている。このままだと崖上危険住宅となり引っ越さなければならない。</p> <p>また、団地入口は、伊敷団地への坂の中間になる。伊敷団地は、朝は大変な渋滞であるが、途中で道路が加わったら、今後の渋滞が心配である。</p> <p>市は、十分な審査、指導と対応をよろしく願いしたい。</p>	<p>私は、まだ把握していない。</p> <p>その区画整理が地域にとって良いものかどうか、また安心安全なものを各面から審査して許可することになると思う。</p>	建設局	<p>当該区域の宅地造成計画については、土地区画整理事業の手法を用いて整備したい旨の相談があり、現在、事前相談を行っているところです。</p> <p>今後、ご指摘のありました宅地造成計画や交通問題等について、関係機関と十分協議、審査等を行ってまいりたいと考えております。</p>

伊敷地域での「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成18年2月9日（木）19：00～20：00
場所：伊敷公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
4	伊敷七丁目 男性	<p>① 小野土地区画整理組合が設立され、伊敷町から小野町に向け土地開発が計画されている。</p> <p>① 団地の学区は、伊敷小校区となるのか。</p> <p>② 現在の伊敷小は、東側に高速道路西側に伊敷団地への道路があり、排気ガスで劣悪な状態である。伊敷小野団地への移転は可能か。</p> <p>③ 現在の伊敷小は、伊敷地区公民館へ転用ができないか。伊敷地区公民館は、伊敷小校区公民館への転用が可能かどうか。</p> <p>④ 全国から注目されるような私立中高一貫教育等の学校誘致はできないか。</p> <p>⑤ 伊敷小校区には公園がないので、現在の伊敷小には都市公園も設置してほしい。</p>	<p>区画整理の推移を見ながら、全体計画が完了した時点で、地域の方と話をしながら公共施設の整備・移転、校区などについて決定していきたい。</p>	建設局 教育委員会	<p>小野土地区画整理事業の現在の状況は、組合設立及び事業計画の認可を行ったところですが、造成工事には着手しておりません。</p> <p>① 校区については、区画整理の推移を見ながら、工事の竣工を目処に地域の方々と話をしながら決定していきたい。</p> <p>② 伊敷小学校は、長い歴史と伝統があり、今のところ移転は考えていない。</p> <p>今後とも、スクールガードの設置や交通安全指導等地域やPTAと一体となって地域に根ざす学校づくりに取り組んでまいります。</p> <p>③ 校区公民館は、原則として小学校の敷地内に設置しております。また、現在の伊敷公民館を校区公民館へ転用することについては、考えておりません。</p> <p>④ 現在、長期的な児童・生徒数の減少傾向の中で、公立、私立学校共に、これからの学校のあり方について検討を進めているところです。私学の中高一貫教育校の誘致については、市としては所管外であることから、ご意見として関係の私学協会等に連絡してまいります。</p> <p>⑤ 公園がない区域への公園の設置は、既成市街地においては、用地の確保が難しいことなどから、一般的には、土地区画整理事業や宅地造成などの開発行為にともない、用地を確保し、公園を設置しています。</p> <p>また、必要に応じて土地所有者の協力のもと、借上げ公園の設置も行っています。</p>
		<p>② 甲突（伊敷）リバーフロント整備計画として、</p> <p>① 長井田・田入道川に蓋盤設置をなし、上下4車線道路の整備をする。既設車道を取り込み車道4車線と、右岸・左岸両方に歩道の併設もしてほしい。</p> <p>② 梅ヶ淵観音入口道路を生活圏道路と参拝道路に区別するため、名突川に蓋盤を設置してほしい。</p> <p>③ 甲突川右岸・左岸道路を整備してほしい。右岸は小山田から天保山まで30キロ走行で30分で行ける。また、観光面でも、建物史跡を生かすため堤防道路を活用できる。浸水予防のための計画でもある。</p>	<p>長井田川は県の管理なので、県とも十分協議しなければならないが、重要な提言だと思う。用地確保等の懸案事項を解決する中で協議をしていきたい。</p> <p>梅ヶ淵の水路については、流下能力等が確保されているので改修計画は無いが、伊敷地域全体の整備計画の中で検討していきたい。</p> <p>甲突川の左岸右岸については、道路整備だけでなく、新幹線全線開通に向けた地域の活性化、観光面でも重要なことだと思うので、それらを念頭に置きながら、整備計画を策定していきたいと思う。</p>	経済局 建設局	<p>① 長井田川について、二級河川区域は、県の管理ですので、内容を申し伝えます。</p> <p>また、準用河川区域については、改修計画はなく、管理面においても、開渠であることが理想であることから蓋盤を設置する予定はないところです。</p> <p>田入道川については、鹿児島市農地整備課の管理であり、現在のところ蓋版設置の計画はありませんが、市道の改良計画がなされ、田入道川に蓋版架設が必要となれば、担当課と連携をとってまいります。</p> <p>② 現在、水路は流下能力が確保されており、改修計画はないところです。また、管理面においても、開渠であることが理想であると考えております。</p> <p>③ 現在、交通の円滑化を図るため、第一中迫橋の橋りょう改良工事を行っています。</p> <p>なお、市の観光未来戦略では、明治維新に活躍した多くの偉人の誕生地がある加治屋町に隣接する甲突川左岸緑地と、その周辺を整備して、観光客が歴史を感じながら散策できるような空間とする予定です。</p>

伊敷地域での「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成18年2月9日（木）19：00～20：00

場所：伊敷公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
5	伊敷二丁目 男性	市全体で一斉清掃日を設け、年に1・2回、日曜日に親子揃ってボランティアに参加できる日があれば、喜んで参加すると思う。 具体的内容については、各地域にまかせるが、市長が先頭に立って活動することを検討していただきたい。	市域全体の清掃については、8月に期間を設けて実施しているところである。市域全体の清掃について広報が不足した面があり、啓発がなされていないことが分かった。 8月に甲突川の清掃についても実施しているが、市域全体に拡大して実施していきたい。	環境局	鹿児島市では、市民総参加による美しいまちづくりを推進するために、8月を「美しいまちづくり運動強調月間」、また8月の第一日曜日を市民一斉清掃「クリーンシティ鹿児島」の日と設定し、町内会を単位として市内全域清掃・啓発活動に取り組むこととしております。 市民の皆様幅広く認知され、一人でも多くの方にご参加いただけるよう、市民のひろばや町内会の回覧板、マスコミ等、あらゆる機会を捉えて周知に努めてまいります。
6	伊敷町 男性	① 地域活動活性化のためのいきいき地域社会づくり事業補助が、17年度までの限定事業となっている。 3分の1補助であろうと非常に助かり、励みにもなる。子供達を集めて、夏祭りなどいろいろなふるさとづくり活動を行っている。地域の伝統行事を保存し、子供達に伝えたいと考えているので、この補助を継続してほしい。	地域の活性化は地域で、また地域は地域で守ってもらうというのが基本である。 補助は17年度で終了するが、地域の素晴らしい伝統文化は継承する必要があり、夏祭り等のいろいろな行事も皆さんの力を借りていかなければならないと考えているので、18年度以降は、予算審議を踏まえて私共の方で検討させていただきたいと思う。	市民局	「いきいき地域社会づくり事業」に替わる、新たな事業として、町内会活動の活性化等を目的とした「みんなで参加 わがまちづくり支援事業」を、18年度から実施しております。 この事業は、利用回数制限や申請区分を撤廃した、町内会等がより利用しやすい制度となっていますので大いに活用していただきたい。
		② 長井田川沿いの市道長井田線は、西伊敷五丁目からの通勤通学路になっているが、道幅が4～5mしかないので拡張してほしい。 そのためには、川の整備をし、それに併せて道路拡幅をしてほしい。道路拡幅は、用地買収等多額の経費も必要になるので、川に蓋盤を設置していただきたい。地域の危険区域となっているので、早急をお願いしたい。 また、田入道橋の拡幅もお願いしたい。	長井田川の整備は、県と十分協議をしていかなければならないと思う。 市道長井田線については、16年度から拡張改良整備を行っている。用地買収や河川との関係もあるので、十分検討して進めていきたいと思う。 また、橋の拡幅については、担当部局に十分調査させて、検討させてほしいと思う。	建設局	市道長井田線については、国道3号から伊敷団地の西伊敷五丁目までを結ぶ地域の幹線道路であることから、九州縦貫自動車道との交差点付近から、西伊敷五丁目までの約750メートル区間について、平成16年度から拡幅改良の整備を行っております。 また、棚木橋から九州縦貫自動車道との交差点までは、二級河川長井田川の管理道路と兼用しております。 この沿線の土地利用状況を勘案すると、用地確保等、非常に難しい面がありますので、今後どのような方策があるか研究してまいります。 田入道橋については、現在の幅員が6m確保されているが市道長井田線の幅員が狭小なため、大型車の通行に支障のある交差点となっており、平成17年度にどのような改善策があるか検討を行いました。 この結果に基づき、今後、関係機関との協議や権利関係者の協力をいただき、早期の改善に努めてまいります。

伊敷地域での「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成18年2月9日（木）19：00～20：00

場所：伊敷公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
7	武岡五丁目 男性	<p>新幹線のトンネルに関連して、40m以深は国が利用できる大深度地下利用法が、平成13年に施行されている。ただし、三大都市圏だけであり、地方都市である本市や九州は対象となっていない。</p> <p>人の土地の下に、勝手に無断でトンネルを掘ると、不動産の侵害、不法行為となる。</p> <p>そこで、この法律の対象範囲を本市を含む九州地域まで拡大してほしい。そうしないと、現在の新幹線トンネルは、不法行為にあたる。</p>	<p>その件については、十分承知をしていないが、話があったことを、JR九州、鉄道・運輸機構等にも話をしていきたいと思う。</p>	企画部	<p>新幹線の建設主体である、鉄道・運輸機構に、いただいたご意見を連絡したところ、次のような回答がありました。</p> <p>「大深度地下利用法の取扱いについては、国の立法措置であるため、当機構としてはお答えしかねます。」</p>
8	伊敷二丁目 男性	<p>この体育館の天井の四隅は、しみがあある。クラック（ひび割れ）が入っているのではないかと思う。市の小中学校、公共施設等には大勢の人が集まるので、地震でも起こったら心配する。</p> <p>建築基準法改正前の建物は、耐震基準を満たしていないものがあると思う。精査されているとは思いますが、人命を守るために、できるだけ早く公共施設の耐震補強をしていただきたい。</p>	<p>昭和56年以前の建物については、耐震基準が満たされていないものがあるようである。</p> <p>市の公共施設全部を調査し、耐震補強をしなければならぬものがある。年次的に補強しているところである。市民が安心して安全で暮らせるまちづくりが重要課題であるので、それに向け一生懸命取り組んでいきたいと思っている。</p> <p>いろんな提言をよろしく願います。</p>	教育委員会	<p>現場を確認したところ、体育館の天井の四隅の塗装が剥離していました。</p> <p>伊敷公民館の体育館については、平成17年度に体育館の雨漏り補修を実施したところですが、耐震診断の必要性については、担当局とも連携を図りながら検討してまいりたい。</p> <p>また、学校の校舎・屋内運動場の耐震診断については、対象校が多いことから建設年次が古いもの、階数の高いものを優先し、建築物の耐震改修促進法が施工された平成8年度から年次的に行ってきたおり、診断の結果、補強が必要な場合は耐震補強工事や建替えを行っております。</p> <p>平成17年度は、15棟の耐震診断を実施し、平成18年度は14棟の耐震診断を予定しております。</p>
9	小山田町 男性	<p>小山田にある運動公園、コミュニティセンター、オフトーク（有線放送）設備の3つを町内会で管理しているが、維持管理費を一部助成していただけないか。コミュニティセンターと有線放送については、農協から管理者等を出してもらっている。</p> <p>コミュニティセンターに一人従業員を配置してもらい、有線放送の管理まで行う方法はとれないか。</p>	<p>町内会の集会所等施設建設については、一定金額を限度に補助しているが、管理運営については、地域の自主管理に委ねている。</p> <p>市全体の補助金制度のあり方について、研究しなければならないと思っており、コミュニティセンターだけのことではないので、ご了解いただきたい。</p>	環境局	<p>小山田コミュニティセンターについては、地元還元施設として譲渡したものであり、その維持管理は、地域で行っていただいております。</p> <p>施設譲渡の際に、維持管理費については、地元負担としている経緯もあるため、今後とも適正な管理運営をお願いしたいと考えております。</p>

伊敷地域での「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成18年2月9日（木）19：00～20：00

場所：伊敷公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
10	犬迫町 男性	<p>平成13年度に地域町内会と市の間で、新北部清掃工場建設に伴う覚書を交わしたが、覚書の中にある北部清掃工場周辺の県道206号線の改良計画は、その用途さえない。</p> <p>この要望箇所は、車の通行量が多く歩行者が安全に歩けないため、地元住民の強い要望もあるので、新北部清掃工場完成時までには、市としても責任を持って県に要請していただくよう強く願います。</p>	<p>新北部清掃工場は、地域のご協力によって整備計画が進められ、平成19年には供用開始となっている。覚書の各項目については、市としても実行する義務がある。県道206号線の整備は、県で事業実施しなければならないものであり、県にも強く要望していきたいと思っている。</p>	環境局	<p>平成13年1月に、地元町内会から提出された要望書とともに、市長から、県知事と土木事務所長に早期整備の要望書を提出しております。また、新北部清掃工場建設工事の地元同意取得の際、当該道路について、県当局に要望する旨の覚書を締結していることから、機会あることに整備促進の要望を行っております。</p> <p>今後とも、県に対して早期に整備が図られるよう強く要請していきたい。</p>
11	下伊敷二丁目 男性	<p>市の第四次総合計画の施策にもあるが、伊敷支所周辺に公共施設や商業・サービス施設をつくりたいということだが、用地があるのか疑問に思っている。</p> <p>企業や大型量販店を誘致して地域の活性化を図るのが大事ではないかと思うので、市でも積極的に取り組んでいただき、助言をお願いしたい。</p>	<p>大型量販店や企業の誘致が、地域の活性化につながるかについては、地域の方々、市域全体でも考えていかなければならないたいへん大きな事項だと思っている。定住人口が増加することで、まちの活性化につながるが、反面いろいろな障害も出てくるのではないかと思う。それらを総合的に検討しながら、判断しなければならないと思う。</p> <p>地域に核となるものがあれば活性化につながると思うので、十分意を用いて検討してみたいと思っている。</p>	経済局	<p>企業誘致については、情報関連企業を中心に行っておりますが、現在、各地域の特性を活かせるような方策を研究しております。</p> <p>大型量販店立地等については、国において、いわゆる「まちづくり3法」の見直しが進められてきました。</p> <p>地元小売業への影響も大きいことから、その趣旨を踏まえ、今後、慎重に対応してまいりたいと考えております。</p> <p>なお、本市として、大型量販店を積極的に誘致することは、現在のところ考えておりません。</p>

伊敷地域での「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成18年2月9日（木）19：00～20：00
場所：伊敷公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
12	皆与志町 男性	① 皆与志は、市街化調整区域で縛られ、市民の水がめである甲突川上流に位置することでの規制もある。現在、約40%位の高齢化率となっている。調整区域でも規制緩和で住宅はできるようになってきているが、土地はあっても道路がないため、なかなか人口が増えない。 農道をつくってほしいという、経済効果と言われるが、将来の経済効果を見込んで、考慮していただきたい。	都市計画、線引きの見直しに早急に取り組まなければならない。合併したことにより矛盾する地域が出てきているので、それを無くすのが行政の役目と思っている。早急に検討して県に提言をしていきたい。 地域が活性化されないのは、道路が整備されないのが一因だと思う。地域全体を考え、地域の整備計画を立てながら、道路整備や改良を進めていかなければならないと思う。	経済局 建設局	鹿児島市は、平成16年11月の合併に伴い、1つの線引き都市計画区域と、4つの非線引き都市計画区域、都市計画区域外が併存していることから、現在、都市計画の見直しや、かごしま都市マスタープランの見直しについて検討を行っております。 一方、都市計画区域を市街化区域と市街化調整区域とに区分する区域区分いわゆる線引きは、都市計画区域を定めた県が、地域の実情を踏まえて、都市計画区域マスタープランの中で判断することとなっております。 このことから、県においては、市町村合併の進展に伴う都市計画区域の再編や区域区分など、今後の県下の都市計画のあり方について意見を聞くため、「かごしまの都市計画あり方検討委員会」を設置し、検討をされているところです。 鹿児島市としても、今後、県と協議調整を行いながら、都市計画の見直しを行うこととなりますが、見直しにあたっては、説明会を開催するなど市民のご意見を広く伺いながら取組んでまいりたいと考えています。 また、農道の整備改良については、地元要望に基づき、緊急性、必要性などを検討し、更に地域の実情も考慮しながら総合的に判断して整備を進めてまいりたい。
		② 郡山、吉田、皆与志の境界に位置する三重嶽という景勝の地がある。海拔400m位で鹿児島市が全部見渡せるので、ぜひ登っていただきたい。 そこを観光の場所にしていただけないか。木を生かした自然と共生する施設はできないか、検討していただきたい。	三重嶽を一例にあげられたが、地域には素晴らしい自然や文化伝統がある。それらを大切に保護しながら、多くの人に活用していただくことを念頭に努力したい。	経済局	昨年末に策定した「鹿児島市観光未来戦略」の重点戦略として「都市と農村の交流」参加・体験型観光の推進」を掲げ、合併により大幅に拡大した緑豊かな田園地帯や森林資源を生かした参加・体験型観光の推進を図っていくこととしております。 また、「みどり豊かな農山村ふれあい推進基本計画」においても、「美しい景観とのふれあい」にむけた事業に取り組んでまいります。
13	男性	梅ヶ淵観音にある歩行者専用橋の手すりの高さが低いのではないかと、中高生が良く通る橋なので、安全面について検討してほしい。	安全面がいろいろな点で問われているので、指摘の点については、調査し検討させたい。	建設局	新村橋歩道橋は、昭和49年に架設された橋梁で、高欄については、当時の防護柵設置要綱により設置されています。 平成10年11月改定の防護柵設置要綱によりますと、防護柵の高さは110cmが標準となっていることから、今後、改善を検討してまいりたい。

伊敷地域での「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成18年2月9日（木）19：00～20：00

場所：伊敷公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
14	西伊敷一丁目 男性	① 老人に対する施設が少ないようである。今後は、老人の健康が社会問題になるので、ぜひ設置してほしい。	少子高齢化が全国的な流れとなっている。特に高齢者に対する施策は、行政が考えなければならない大きな課題である。 各地域にどんな施設が必要か検討したい。	健康福祉局	鹿児島市の第四次総合計画において、伊敷地区に高齢者福祉センターを設置することを計画しております。 今後、計画の推進に向けて取り組んでまいります。
		② 西伊敷三丁目にある伊敷中央公園横の駐車場は、稼働率が悪い。 民間に開放して、1階を駐車場にし、2階には老人ケア施設を設置してほしい。	市にも遊休資産があるので、全体的に調査し、できるだけ活用していく必要がある。駐車場もその中で方法を検討したい。	健康福祉局 建設局	デイサービスセンター等の高齢者のケア施設については、今後とも、民間による整備を促進してまいりたいと考えています。 また、伊敷中央公園横の駐車場は、一般の公園利用者に利用していただく施設として管理しておりますので、ご理解いただきたい。